

# 栃木県立博物館評価シート（平成29年度実績）

## 1. 定量的評価

評価基準 A:達成度100以上 B:99～80 C:80未満

分野	評価項目	目標値(a)	達成度 (b/a×100)	評価	備考
		達成値(b)			
利用状況	年間入館者数	120,000 人	177.3	A	
		212,782 人			
	レファレンス件数	800 件	124.9	A	
		999 件			
展示	企画展開催回数	3 件	100.0	A	
		3 件			
	展示室利用率	75 %	121.1	A	
		90.8 %			
	来館者満足度	80 %	111.4	A	
		89.1 %			
普及教育	講座等開催回数	150 件	131.3	A	
		197 件			
	地域・学校移動博実施回数	15 件	140.0	A	
		21 件			
	学校来館数	165 件	104.8	A	
		173 件			
資料の活用	資料貸出件数	140 件	135.0	A	
		189 件			
	データベース公開件数	326,000 件	105.2	A	
		343,108 件			
調査研究	研究論文・研究報告書等件数	35 件	157.1	A	
		55 件			
	研究発表件数	25 件	152.0	A	
		38 件			
情報の発信	報道機関取材件数	30 件	136.7	A	
		41 件			
	ホームページアクセス件数	270,000 件	-	-	情報システムの不具合によるデータの欠損
		- 件			

2. 定性的評価

目標値:チェックリスト評価項目の数×3

達成値:チェックリスト評価aの数×3+bの数×2+cの数

評価基準 A:達成度100~90 B:89~80 C:80未満

評価項目		目標値(a)	達成度 (b/a×100)	評価	備考
		達成値(b)			
資料の収集・保管	資料の収集	15	93.3	A	
		14			
	資料の保存管理	24	83.3	B	
		20			
調査研究		12	91.7	A	
		11			
展示・普及教育活動	常設展示	12	100	A	
		12			
	企画展・テーマ展等	12	100	A	
		12			
	普及教育活動	18	100	A	
		18			
施設の計画的な整備・維持管理		24	87.5	B	
		21			
情報の発信と公開		21	100	A	
		21			
県民参加		15	86.7	B	
		13			
効果的・効率的な管理運営		12	100	A	
		12			
中核的博物館としての機能充実		24	100	A	
		24			

3. 年度内に取り組んだ重点事業・新たな取り組み等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第117回企画展、とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト事業「とちぎの山・鉾・屋台」の開催 本県の「烏山の山あげ行事」と「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録を記念し、また東京オリンピック・パラリンピックに向けて本県の魅力ある文化を国内外に発信し、本県文化の底上げや地域活性化に繋げる事業として、企画展を開催した。</li> <li>・開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏-頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族-」の開催 当館の開館35周年を記念し、宇都宮市をはじめ10市町と下野新聞社等4社の主催ほか、多くの企業・団体の後援・協賛により、特別企画展を開催し、併せて記念講演会や史跡紹介等関連事業を実施した。</li> <li>・普及教育事業の推進 市町や学校等と連携しながら、地域や学校における移動博物館の開催、出前講座や出前授業、観察会の実施など、普及教育事業を積極的に推進したほか、県有バスを利用した小規模小学校の来館促進事業を実施した。</li> <li>・国際化への対応、外国人向けの情報発信 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、文化庁補助事業を活用し、代表的な常設展示の解説をスマホ等端末を用いて閲覧できるアプリケーション「とちほくNavi」の追加整備(中国語繁体字・韓国語)を実施したほか、リーフレット作成、ホームページ及び館内主要案内板の多言語化を実施した。</li> <li>・県立博物館の日イベントの実施 県民に親しまれ、開かれた博物館を目指して、毎月第3日曜日を「県立博物館の日」とし、学校や関係団体等の協力を得て各種イベントを実施した。</li> <li>・新収蔵庫棟整備の実施 平成22(2010)年4月の供用開始に向け、基本設計・実施設計を実施した。</li> </ul>
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館35周年特別企画展をはじめ、特色ある企画展・テーマ展等の開催により、県民をはじめ広く、本県の歴史・文化や自然の魅力・特色についての紹介・普及に努め、前年に比し、本館に多くの入館者があった。 (H28: 86,298人→H29: 96,463人、10,165人増)</li> <li>・地域移動博物館や出前授業等の実施により、市町や学校との連携を強化し、県民への歴史、民俗、自然科学等に対する興味・関心を啓発するなど普及教育に努め、前年に比し、移動博物館等で多くの入館者があった。 (H28: 101,197人→H29: 116,319人、15,122人増)</li> <li>・展示資料の多言語化事業により、来館する外国人へのサービス向上が図られ、来館へのきっかけづくりとなるとともに、とちぎの魅力を国内外に発信することができた。</li> <li>・「県立博物館の日」は実施開始から4年、「県博デー」として定着し、協力団体の関係者等をはじめ、多くの入館者(平均914人)を確保するなど、「県民にとって開かれた親しみやすい博物館」として、着実に成果を得られた。</li> <li>・新収蔵庫棟整備については、設計とともに工事中の課題等の検討も行き、所蔵資料の収蔵スペースの確保と収蔵環境の改善に向け、着実に前進することができた。</li> </ul>

4. 総合評価

目標値：評価項目の数×3  
 達成値：評価aの数×3+bの数×2+cの数

評価の種類(項目数)	A評価	B評価	C評価
定量的評価(14項目)	13	0	0
定性的評価(11項目)	8	3	0
総合評価	95.8% [達成値/目標値: ((13+8)×3+(0+3)×2)÷((13+11)×3) = 69÷72 = 0.958]		

5. 自己評価総括

評価	<p>「定量的評価」については、システムの不具合でデータが取れなかったホームページアクセス件数を除き、「年間入館者数」「レファレンス件数」「資料貸出件数」等全ての項目で目標値を達成したこと、また、「定性的評価」については、「資料の収集・保管」「調査研究」「施設の計画的な整備・維持管理」「県民参加」の4項目で目標値を若干下回ったものの、多くの項目で目標値を達成し、国際化への対応において、アプリケーションの追加整備を実施できたこと等、一定の成果を得られたことから、概ね適正な運営であった。</p> <p>また、懸案の資料収蔵スペースの不足解消や収蔵環境の改善については、新収蔵庫の整備に着手することができた。今後は駐車場の確保や老朽化した施設の計画的更新などの課題について、関係部局と協議・連携し、具体的な対応について検討を進めていく必要がある。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の収集・保管に係る収蔵スペースの確保及び収蔵環境の改善</li> <li>来客用駐車場の確保</li> <li>老朽化した施設の計画的な更新</li> <li>ボランティア活動の活性化</li> <li>少子高齢化等、社会的変化の中での入館者数・利用者数の増加策</li> </ul>
対応の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>収蔵スペースの確保及び環境の改善については、新収蔵庫整備工事に着手したことから、工事業者や関係部局と調整を図りながら、平成33(2021)年度の供用開始に向け、本体や外構等の工事を着実に進めていく。</li> <li>来客用駐車場の確保については、財源等の課題について、引き続き、関係部局と協議を行っていく。</li> <li>施設の計画的な更新については、現況や優先度を踏まえ、関係部局と協議・連携しながら、予算の確保に努める。</li> <li>ボランティア活動の活性化については、ボランティアの意向も踏まえながら、主体的な活動ができるよう環境の改善を図り、研修等を充実させていく。</li> <li>入館者数・利用者数の増加策については、博物館の存在意義や県民ニーズを踏まえながら、社会教育施設として魅力的な展示、普及教育や学校・地域との連携等各種事業の更なる充実に努めていく。</li> </ul>

## 6. 博物館協議会総括

協議会の意見	<p>平成29年度の博物館の運営の状況については、概ね適正に運営されたと判断される。 しかしながら、次の事項については、博物館本来の使命や県民サービス、県民との協働等、博物館運営に関わる大きな課題であることから、対応策を検討すること。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 県民利用の向上を図るため、駐車場を共用する中央公園の所管部局と協議・調整を進め、駐車場を確保すること。</li><li>2 ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティアが活動しやすい環境の整備や研修会の開催等による質の向上、更にはボランティア活動に関する情報発信に努めること。</li><li>3 博学連携の更なる推進を図るため、イベント等への学校の参加機会を拡充するとともに、学校現場の状況に配慮しながら、新たな博学連携に向けた取組を推進すること。</li><li>4 入館者増を図るため、ICTやVR等を活用した時代のニーズに合った取組を推進できるよう、学芸員を先進地調査や展示会等に積極的に参加させること。</li></ol> <p>また、次の事項について検討すること。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 博物館評価について、博物館の活性化に向け、時代に応じた評価項目の変更・見直しや、栃木県立博物館としての個性や特色に対する評価の導入。</li><li>2 メディアを活用した情報発信の手法。</li></ol>
--------	---

# 定性的評価項目チェックリスト

a:おおむねできている b:ある程度できている c:不十分

大項目	中項目	チェック内容	評価
1 資料の収集・保管	(1) 資料の収集	① 必要な資料収集が行われているか	b
		② 館が定めた中・長期的な収集方針に基づき資料収集が行われているか	a
		③ 客観的な評価を経て購入・受け入れをしているか	a
		④ 収集資料の燻蒸・クリーニングが適切に行われているか	a
		⑤ 標本作成途中の資料の管理が適正に行われているのか	a
	(2) 資料の保存管理	① 資料の収蔵スペースは確保されているか	c
		② 資料の収蔵環境は適正に管理されているか	b
		③ 有害生物のモニタリングを実施し、その結果に基づき適切な対処をしているか	a
		④ 資料の修復や保存処理等の措置を必要に応じて行っているか	b
		⑤ 借用資料・寄託資料の更新手続きは適正に行われているか	a
		⑥ 資料台帳・データベースが整備・更新されているか	a
		⑦ 収蔵庫の入退室管理簿が整備されるとともに、適正に管理されているか	a
		⑧ 収蔵庫の鍵が適正に管理されているか	a
2 調査研究	① 学芸員個々の専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	a	
	② 調査研究活動を遂行するために必要な専門研修に参加しているか	b	
	③ 調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	a	
	④ 調査研究の成果を、国、県、市町村、地域社会等にさまざまな形で還元しているか	a	
3 展示・普及教育活動	(1) 常設展示	① 展示資料等が適宜点検されているか	a
		② 展示情報が適宜修正・更新されているか	a
		③ 展示設備等が適宜点検・整備されているか	a
		④ 展示解説等が適宜実施されているか	a

3 展示・普及教育活動	(2) 企画展・テーマ展等	① 県民ニーズや時代の要請を踏まえて、企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		② 調査研究成果の蓄積や、最新の学術情報を反映した企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		③ 模範的、先進的な展示手法を用いた企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		④ 中・長期的な企画展の開催計画を策定しているか	a
	(3) 普及教育活動	① 多様な参加者を想定したプログラムが用意されているか	a
		② 学校教育活動との連携を図っているか	a
		③ 教員指導者向けの支援・育成プログラムを実施しているか	a
		④ 事業実施にあたり参加者の安全が配慮されているか	a
		⑤ 来館者用の図書・情報コーナーを整備しているか	a
		⑥ 学芸員実習や職場体験の学生・生徒を受け入れ、適切に指導しているか	a
4 施設の計画的な整備・維持管理	① 施設の維持・改善についての計画を策定しているか	b	
	② 危機管理マニュアルを整備し職員に周知しているか	a	
	③ 緊急事態に対応できるよう、消防・避難等の訓練を定期的実施しているか	a	
	④ 休憩コーナー、授乳コーナーの設置や車椅子の貸し出し等、来館者が快適に観覧できる環境が整っているか	a	
	⑤ 手すり、点字ブロックなど、バリアフリー化への取り組みがなされているか	a	
	⑥ 利用情報や館内サインはわかりやすく表示されているか	a	
	⑦ 館内サインの英文表記など国際化への対応はとられているか	a	
	⑧ 利用者数に見合った駐車場が確保されているか	c	
5 情報の発信と公開	① 館の使命をわかりやすい言葉で明文化し、ホームページなどで公開しているか	a	
	② 年報、要覧などを通して、事業実績や(目標の達成状況、)財務など、館の運営状況を公開しているか	a	
	③ 展示・普及教育事業情報が利用者に広く発信されているか	a	
	④ 収蔵資料の館外貸し出しに適切に対応しているか	a	

		⑤ 収蔵資料の特別利用(熟覧・撮影等)に適切に対応しているか	a
		⑥ 二次資料(写真等)の特別利用(原板使用等)に適切に対応しているか	a
		⑦ 資料のデータベースを公開・更新しているか	a
6 県民参加		① ボランティア活動が活発に行われているか	b
		② ボランティア研修が適切に実施されているか	b
		③ 友の会、研究団体、文化団体等が館事業に参加する機会を設けているか	a
		④ 施設利用のための情報が公開されているか	a
		⑤ オープンスペースを有効に活用しているか	a
7 効果的、 運営、 効率的な管理		① 館として中長期的な経営目標を定め、職員に周知しているか	a
		② 館の事業や業務に関して、意思決定のための会議を定期的に行っているか	a
		③ 事業面、管理運営面など全般にわたる自己評価を実施しているか	a
		④ 事業面、管理運営面など全般にわたる外部評価を実施しているか	a
8 中核的博物館としての機能充実		① 公開承認施設として資料を公開しているか	a
		② 県内の博物館職員を対象とした研修会・見学会等を実施しているか	a
		③ 県内の博物館施設を対象とした協力・支援・連携事業を実施しているか	a
		④ 県外博物館施設との相互協力事業を実施しているか	a
		⑤ 地方自治体や各種組織に専門的な立場で助言・情報提供を行っているか	a
		⑥ 大学、高校等の教育機関への寄与・貢献を行っているか	a
		⑦ 県内外の学会、研究会等の運営に寄与・貢献しているか	a
		⑧ 栃木県博物館協会の中心館として機能しているか	a